

平成 28 年 1 月 14 日

株式会社三菱東京 UFJ 銀行

## セキュリティバンクとの資本・業務提携について

株式会社三菱東京 UFJ 銀行（頭取 <sup>ひらの のぶゆき</sup> 平野 信行）は、本日、フィリピン共和国（以下、フィリピン）の地場主要商業銀行である Security Bank Corporation（以下、セキュリティバンク）と株式引受契約を締結し、以下内容で資本・業務提携（以下、本提携）することで合意いたしました。今後、関係当局の認可、その他契約上の諸条件の充足を前提として、セキュリティバンクの約 20%の株式を取得すると共に、取締役 2 名を派遣し、持分法適用会社とする予定です。

### 1. 本提携の目的

三菱東京 UFJ 銀行は、アジアを「第 2 のマザー・マーケット」として位置づけ、近年では、ベトナムの国営大手銀行ヴィエティンバンクへの出資、タイの大手商業銀行であるアユタヤ銀行の買収、ミャンマーの民政化後では外銀初となる支店の開業など、拠点ネットワークや事業基盤の拡大を通じ、国内外のあらゆる地域のお客さまへのサービス提供力の向上に努めてまいりました。本提携は、そのアジア戦略の一環であり、セキュリティバンクへの出資を通じて、今後も高い成長が見込まれるフィリピンにおける当行業務の拡大を狙っています。

フィリピンは、人口約 1 億人と ASEAN の中でインドネシアに次ぐ人口大国であり、活発な個人消費やコールセンター等の BPO (Business Process Outsourcing) 産業の発展等により足元の経済成長率は約 6%と高い経済成長が続いております。一方、GDP に占める貸出や預金の割合は他の ASEAN 諸国と比べ相対的に低く、今後の更なる経済発展に伴い金融サービスの需要拡大が見込まれています。

セキュリティバンクは、フィリピンにおいて多様な金融サービスを提供する上場商業銀行であり、上位行の中では珍しいどの地場財閥グループにも属さない独立系の銀行として、近年、急速にその事業および顧客基盤を拡大させており、同国トップクラスの成長性と収益性を誇っています。

三菱東京 UFJ 銀行は 1953 年にマニラ駐在員事務所を開設して以来、約 60 年に亘りフィリピンで活動されるお客さまの支援に努めてまいりました。本提携によって、更なるサービス拡充を図り、より多くのお客さまの多様なニーズにお応えしてまいります。

### 2. 資本提携の概要

(1) 出資形態 : 三菱東京 UFJ 銀行はセキュリティバンクが実施する第三者割当増資に応じることにより、セキュリティバンク株式（普通株式及び議決権付優先株式を合わせた希薄化後発行済株式の約 20%）を取得予定。三菱東京 UFJ 銀行は、既存筆頭株主である Dy Group（セキュリティバンクの名誉会長である Frederick Y. Dy 氏を中心とする株主グループ）に次ぐ第 2 位の主要株主になるとともに、セキュリティバンクを三菱東京 UFJ 銀行の持分法適用会社とする予定。なお、三菱東京 UFJ 銀行は、本提携に際し、セキュリティバンクの既存筆頭株主である Dy Group との間で株主間契約を締結しております。

- (2) 出資総額 : 約 369.43 億フィリピンペソ (約 783 百万米ドル<sup>1</sup>)
- (3) 取得価額 : 普通株式一株当たり 245 フィリピンペソ  
優先株式一株当たり 0.1 フィリピンペソ
- (4) 出資時期 : 関係当局の認可等を前提に、2016 年前半の完了を予定
- (5) 役員派遣 : 三菱東京 UFJ 銀行から 2 名のセキュリティバンク取締役を派遣する予定

### 3. 業務提携の概要

両行が有するノウハウや顧客基盤を活かし、主に以下の分野を中心として協働を推進することにより、両行のお客さまへのサービス拡充を図ります。

(主な協働推進分野)

- ・ 日系企業従業員向けの職域サービス
- ・ 貿易金融
- ・ プロジェクトファイナンス
- ・ 相互の長期資金調達の支援
- ・ 日系企業が関与する大型プロジェクト等の日系企業が関連するビジネス機会の捕捉
- ・ 両行が有する各分野におけるノウハウの提供
- ・ リース・証券・資産運用等の分野における三菱 UFJ フィナンシャル・グループ (以下、MUFG) 傘下のグループ企業との協働 等

### 4. 本提携の戦略的意義

三菱東京 UFJ 銀行は、本提携を通じ、以下の効果実現を目指してまいります。

- (1) アジア戦略の一環として、ベトナム、タイ等に続いて、フィリピンにおいてもリテール分野を含むより幅広い分野での金融サービスを提供できる体制を構築し、現地のお客さま向け対応力を抜本的に強化します。
- (2) セキュリティバンクは、コーポレート・バンキング業務のみならず、三菱東京 UFJ 銀行がフィリピンにおいて現在展開していないリテール業務および中小企業取引も手掛けており、出資を通じた事業領域の拡大によって、フィリピンにおける確固たる足場を築きつつ、同国の著しい経済成長を幅広く取り込みます。
- (3) 三菱東京 UFJ 銀行の資本及び人材・ノウハウの提供を通じて、セキュリティバンクが進める成長戦略を加速させ、セキュリティバンクが目指す同国トップクラスの銀行への飛躍をサポートすることで、三菱東京 UFJ 銀行及び MUFG のフィリピンにおいてはアジアにおけるプレゼンスの更なる拡大を目指します。

### 5. セキュリティバンクの概要

セキュリティバンクは、フィリピンにおいて民間銀行として第 6 位の資産規模を有する地場上場商業銀行であり、フィリピン全土に 262 支店を有して、個人のお客さまから、中堅中小・大企業のお客さまに対して、法人金融、消費者金融、投資、資産運用等の包括的な金融サービスを提供しています。三菱東京 UFJ 銀行とは、2011 年よりキャッシュ・コレクションサービスについて業務提携しています。

---

<sup>1</sup> 為替レート : 1USD=47.2PHP

- (1) 商号： Security Bank Corporation  
(2) 事業内容： 商業銀行  
(3) 設立： 1951年  
(4) 所在地： フィリピン共和国、マカティ市  
(5) 代表者： Mr. Alfonso L. Salcedo, Jr. President and CEO  
(6) 資本金： 6,089百万ペソ（2015年9月30日現在）  
(7) MUFJGおよび三菱東京UFJ銀行との関係：  
MUFJGおよび三菱東京UFJ銀行とセキュリティバンクの間には開示を必要とする一切の資本関係、人的関係、取引関係はございません。  
(8) 従業員数： 4,014人（2014年12月31日時点）  
(9) 支店数： 262店舗（2016年1月13日時点）  
(10) 最近事業年度における業績の動向： (単位：百万フィリピンペソ)

事業年度	2012	2013	2014
株主資本	36,856	40,756	46,881
総資産	259,263	347,542	397,198
粗利益	14,027	12,312	16,769
営業利益	7,779	5,512	8,089
少数株主持分除く当期純利益	7,516	5,012	7,164
EPS (PHP)	12.47	8.31	11.88
BPS (PHP)	61.14	67.61	77.76

以上

【参考資料】

## フィリピンの銀行業界について

### フィリピン総資産上位10行

US\$MM <sup>*1</sup>		
#	銀行名	総資産 <sup>*2</sup>
1	BDO	41,367
2	Metrobank	35,123
3	BPI	29,875
4	LBP (国営)	24,159
5	PNB	13,845
6	RCBC	10,372
7	<b>Security Bank</b>	<b>10,216</b>
8	China Bank	10,002
9	DBP (国営)	9,853
10	Union Bank	8,343

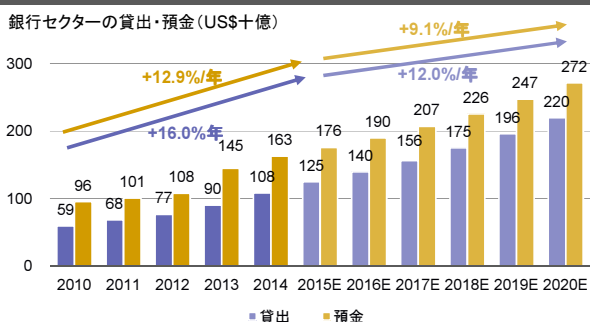
(出所) Capital IQ

### フィリピン時価総額上位10行

US\$MM <sup>*1</sup>		
#	銀行名	時価総額 <sup>*3</sup>
1	BDO	8,109
2	BPI	6,980
3	Metrobank	5,423
4	Philtrust Bank	2,585
5	<b>Security Bank</b>	<b>1,814</b>
6	China Bank	1,461
7	PNB	1,376
8	Union Bank	1,279
9	RCBC	979
10	East West Bank	602

(出所) Capital IQ

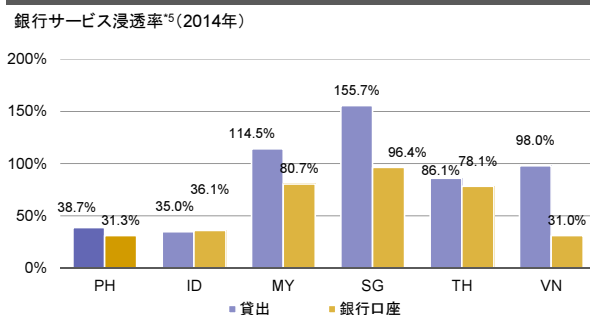
### 着実な貸出・預金の拡大



(出所) フィリピン中銀、BMI

\*1 為替レート: US\$1.00 = PHP47.2    \*2 2015年9月末    \*3 2015年12月29日時点  
 \*4 PH: フィリピン, ID: インドネシア, MY: マレーシア, SG: シンガポール, TH: タイ, VN: ベトナム  
 \*5 貸出: GDPに対する貸出額の割合、銀行口座: 15歳以上人口に対する銀行口座数

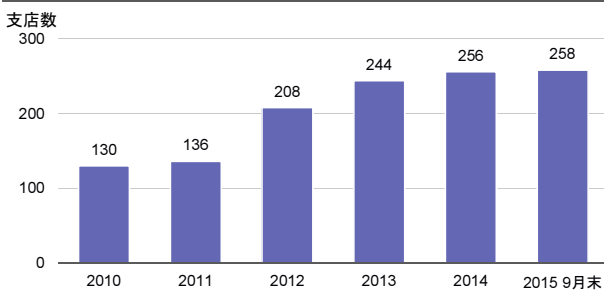
### 相対的に低い銀行サービス浸透率<sup>\*4</sup>



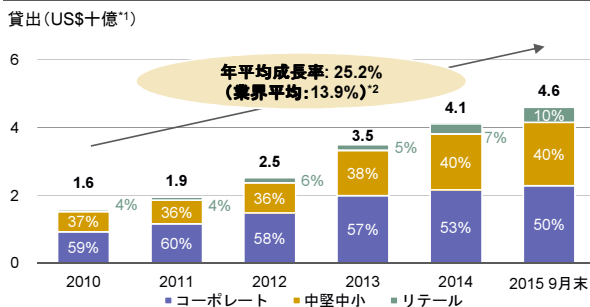
(出所) フィリピン中銀、BMI

## セキュリティバンクの過去実績推移

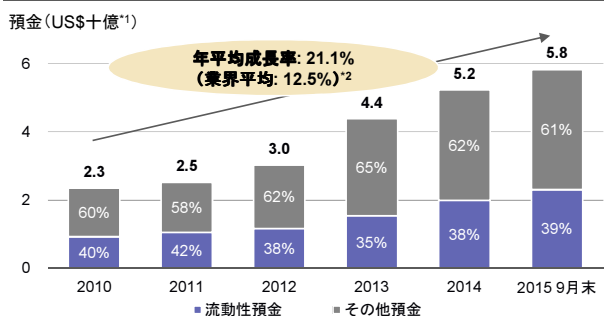
### 過去5年間で支店数は約2倍に増加



### 業界平均を上回る貸出の伸び



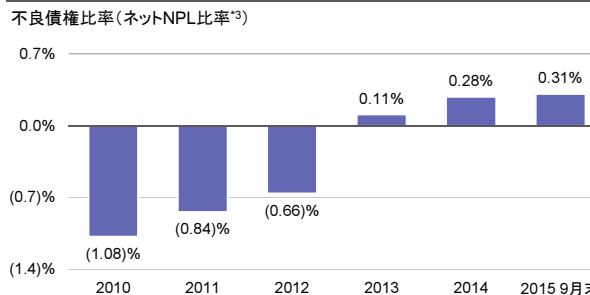
### 業界平均を上回る預金の伸び



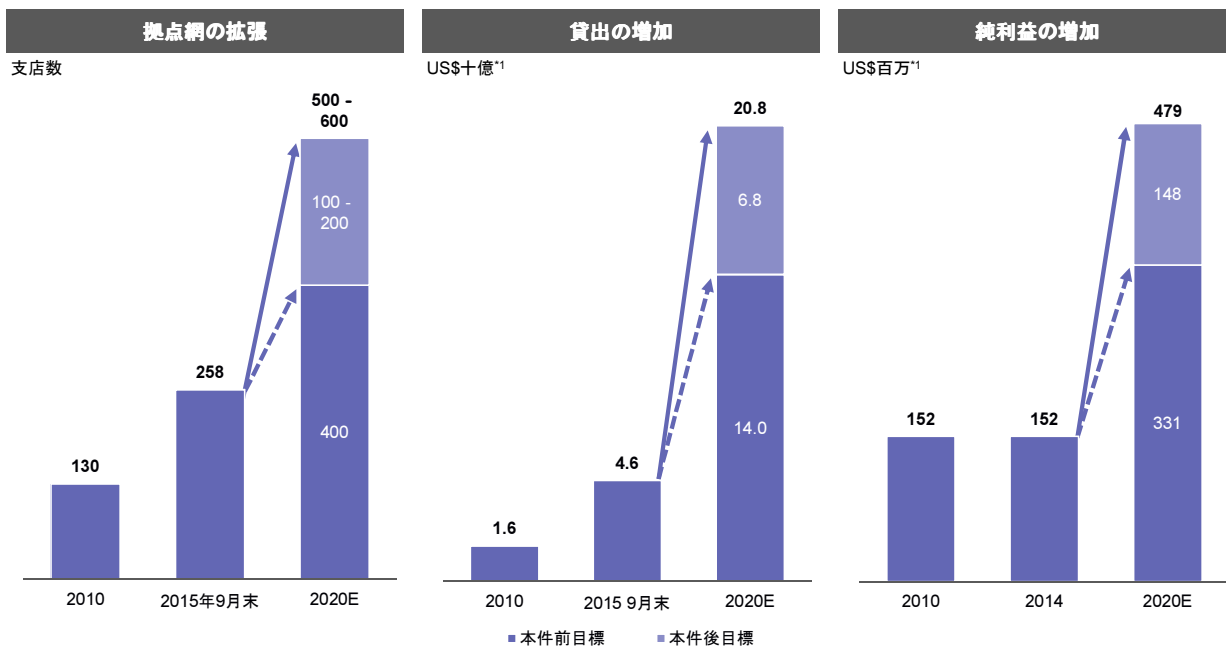
(出所) 会社資料、フィリピン中銀

\*1 為替レート: US\$1.00 = PHP47.2  
 \*2 フィリピンにおける業務内容に応じた銀行の分類上で、ユニバーサルバンク及びコマースバンクに分類される銀行の数値(フィリピン中銀データ。2015年9月末時点)  
 \*3 フィリピン中銀が、2013年1月より、当該比率(総貸出に対する、総不良債権額から一定の貸倒引当金を差し引いた額の割合)を、不良債権を計測する補足的な方法として紹介しており、セキュリティバンクはこれに従って同比率を開示

### 高い資産の健全性



## セキュリティバンクの本提携後の中長期目標



**ROEは増資後3~4年で15%前後まで回復**

<sup>\*1</sup> 為替レート: US\$1.00 = PHP47.2